

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型インフルエンザ等対策会議運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 感染症対策推進課 感染症対策第二係 電話番号：058-272-1111 (内3352)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,327 千円 (前年度予算額： 732 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	732	366	0	0	0	0	0	0	366
要求額	1,327	659	0	0	0	0	0	0	668
決定額	1,327	659	0	0	0	0	0	0	668

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

ア 岐阜県新型インフルエンザ等医療保健福祉協議会

平成21年5月、新型インフルエンザの発生及び流行に関する県内の医療及び保健福祉のあり方に関して協議するため、県内の医療・保健・福祉の関係団体の代表者や学識経験者で構成する「岐阜県新型インフルエンザ医療保健福祉協議会」を設置した。当協議会は、県対策本部からの「新型インフルエンザが県内でまん延した場合のハイリスク者に対する医療保健福祉サービスについて」の審議を行い、6月5日答申した。

イ 地域新型インフルエンザ等対策会議

「岐阜県新型インフルエンザ等対策行動計画(平成25年10月策定)」(以下、行動計画という。)に基づき、保健所が中心となり、地域の医療関係者から成る会議を開催し、帰国者・接触者外来の設置、入院医療体制、まん延期の医療体制、予防接種体制等について検討を行っている。

新型インフルエンザ等対策の中核となる医療体制について、地域ごとの関係機関との協議を経て整備が進んでいる。今後も、体制の検討・協議を進める必要がある。

ウ 地域新型インフルエンザ等対策訓練

新型インフルエンザ等対策特別措置法12条及び行動計画により、行政機関の長等は新型インフルエンザ等対策についての訓練を行うよう努める必要がある。各保健所は市町村、地域の医療機関、消防本部等と協力し、必要となる訓練を行っている。

(2) 事業内容

行動計画に基づき行う対策の実行性を確保するため、以下の会議及び訓練を開催する。

ア 岐阜県新型インフルエンザ等医療保健福祉協議会

発生時において、県内の医療及び保健福祉の対策、特にハイリスク対策を中心とした対応方針を決定し、情報を共有する。

イ 地域新型インフルエンザ等対策会議

発生前から、保健所単位で、地域の実情に応じた医療体制の整備について医療関係者、市町村等と協議する。

ウ 地域新型インフルエンザ等対策訓練

保健所単位で新型インフルエンザ等発生時を想定し、市町村、医療関係者、消防等と必要な訓練を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2 ※一部は国費対象外

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	242	アドバイザー、講師等謝礼
旅費	321	業務旅費、費用弁償
消耗品費	586	訓練用個人防護具等消耗品費
会議費	54	会議時のお茶
役員費	25	通信運搬費
使用料	90	会場借上げ
保険料	9	訓練参加者の保険料
合計	1,327	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県新型インフルエンザ等対策行動計画

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

平成25年10月に改定した「岐阜県新型インフルエンザ等対策行動計画」（＝県行動計画）に基づく、地域ごとの具体的な医療体制を協議するため、保健所が中心となり、地域の医療関係者、市町村等の関係者からなる対策会議を開催し、地域の実情に応じた医療体制を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①対策会議・訓練を開催した圏域数	/	0	5	5	5	0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	例年、地域新型インフルエンザ等対策会議及び実動訓練・机上訓練等を圏域毎に実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う保健所・医療機関の業務状況を考慮し中止とした。
	指標① 目標：__5__ 実績：__0__ 達成率：__0__ %
令和3年度	例年、地域新型インフルエンザ等対策会議及び実動訓練・机上訓練等を圏域毎に実施していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う保健所・医療機関の業務状況を考慮し中止とした。
	指標① 目標：__5__ 実績：__0__ 達成率：__0__ %
令和4年度	例年、地域新型インフルエンザ等対策会議及び実動訓練・机上訓練等を圏域毎に実施していたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う保健所・医療機関の業務状況を考慮し中止とした。
	指標① 目標：__5__ 実績：__0__ 達成率：__0__ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	<p>新型インフルエンザ等発生時には、関係機関の適切な役割分担及び地域の医療資源の効率的活用が必須である。これらの調整は、地域医療体制整備の核である保健所を中心に行う必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	<p>新型コロナウイルス感染症に対する医療体制整備では、地域の関係機関間の緊密な連携が特に必要であり、過去の会議・訓練で得た知見やノウハウが活用された。新たな感染症発生時にも活用が見込まれる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	<p>主催会議については、伝達・協議事項を精査・事前調整する等により、必要十分な回数で開催するようにしている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症に対する医療体制整備で明らかとなった課題等を協議し、今後の会議・訓練へ反映させる必要がある。地域の関係機関間の緊密な連携を維持するには、定期的な会議・訓練等は不可欠である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症に加え、世界では鳥インフルエンザH7N9、エボラ出血熱、MERS感染症等の発生も続いており、新たな感染症のパンデミックに備えた迅速かつ盤石な危機管理体制の構築は必須である。具体的な課題について協議し、関係機関とより一層緊密に連携を図る必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	